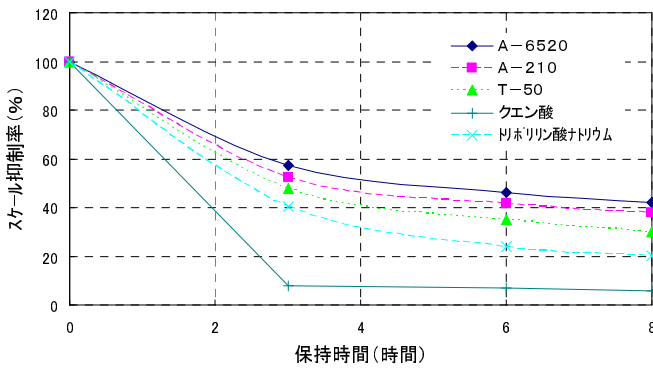


スケールコントロール剤

アロン® T-50、A-210、A-6016A、A-6012、A-6019N、A-6520

## 各種スケールに対する抑制能

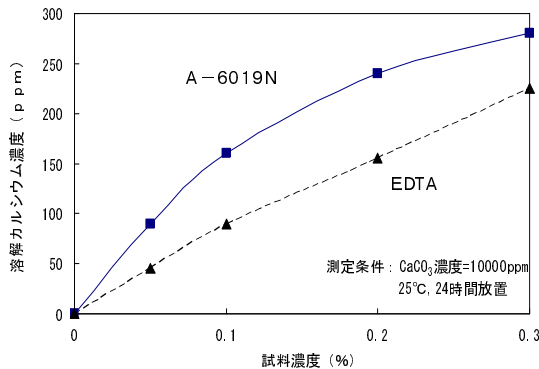
### 1. 炭酸カルシウムスケール



#### (評価方法1) 炭酸カルシウムスケール抑制能

炭酸カルシウム560ppmに対して試料濃度4ppmを加え、60°Cで所定時間保持し、その時の試験水中の溶存カルシウム濃度を測定してスケール抑制能を求めた。

- クエン酸、トリポリリン酸ナトリウムよりもT-50, A-210, A-6520の方が良好なスケール抑制能を示した。

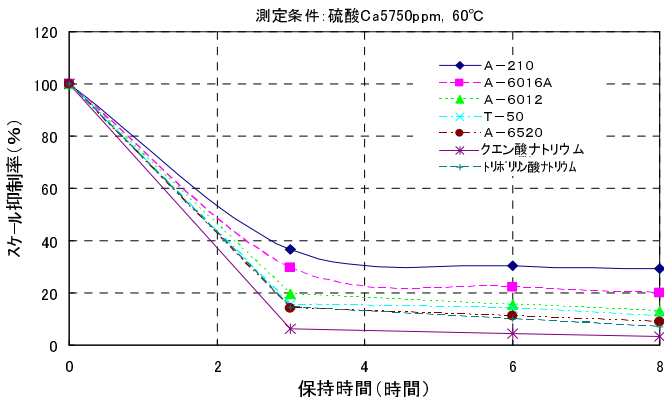


#### (評価方法2) 炭酸カルシウムスケール抑制能

所定の試料水溶液(pH7) 100mLに1gの炭酸カルシウムを加え、室温で24時間攪拌放置した後フィルターでろ過し、ろ液のカルシウム硬度(試料を添加することで溶解した炭酸カルシウムの量)を測定し、炭酸カルシウムスケール溶解能とした。

- EDTAよりもA-6019Nの方が良好なスケール抑制能を示した。

### 2. 硫酸カルシウムスケール

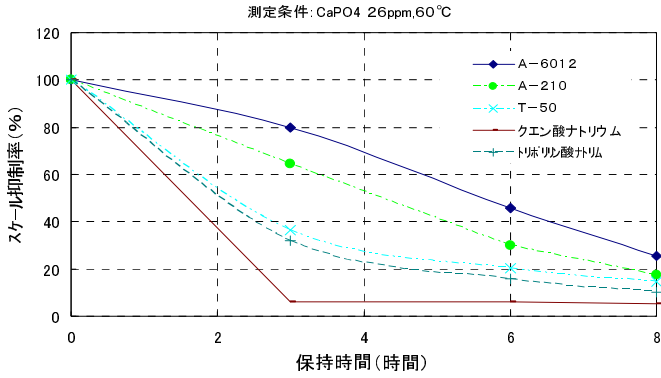


#### (評価方法) 硫酸カルシウムスケール抑制能

硫酸カルシウム5,750ppmに対して試料濃度4ppmを加え、60°Cで所定時間保持し、その時の試験水中の溶存カルシウム濃度を測定し、スケール抑制能を求めた。

- クエン酸ナトリウム、トリポリリン酸ナトリウムよりもA-210, A-6016A, A-6012, T-50, A-6520の方が良好なスケール抑制能を示した。

### 3. リン酸カルシウムスケール



(評価方法) リン酸カルシウムスケール抑制能  
リン酸カルシウム26ppmに対して試料濃度4ppmを加え、  
60°Cで所定時間保持し、その時の試験水中の  
溶存カルシウム濃度を測定してスケール抑制能を求めた。

・クエン酸ナトリウム、トリポリリン酸ナトリウムよりも  
A-6012, A-210, T-50, の方が良好なスケール抑制能  
を示した。

### 4. 注意事項

法令を遵守し、弊社MSDSをご参照の上、ご利用ください。



**東亜合成株式会社** アクリル事業部 アクリルグループ

<http://www.toagosei.co.jp/>

本店営業部	〒105-8419	東京都港区西新橋1-14-1	TEL:03-3597-7337
大阪支店	〒530-0005	大阪市北区中之島3-3-3	TEL:06-6446-6564
名古屋支店	〒460-0003	名古屋市中区錦1-4-6	TEL:052-209-8594